学校番号	2004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎発展	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　「生物基礎」　（啓林館）						
副教材等	二訂版 ニューステージ 生物図表（浜島書店） 三訂版　リードα　生物基礎　（第一学習社） 2026 大学入試共通テスト攻略問題集　ビーライン生物基礎　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然に親しみ、見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心を育んでもらいたい。小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点で見るとどのように見えてくるのか。どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送ることができるのか。この２つの問題を常に意識して、学び、考え続けてください。

２　学習の到達目標

(1)日常生活や社会との関連を図りながら、「遺伝子」「恒常性」「生態系」の３つの視点から生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2)観察や実験から得られた結果を整理し、生物現象や生物と生態系との関わりについて科学的に探究する力を養う。
(3)生物と環境との関係を理解するとともに、生命を尊重し、主体的に自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献し、科学的に探究しようとする力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。科学的に探究するために必要な観察や実験などに関する基本的な技能を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について関心をもち、科学的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴	・生物の共通性と多様性 ・生物とエネルギー	a:「生物の特徴」に関する探究活動を科学的に行うために必要な観察、実験などに関する基本的な知識、技能を身に付けている。 b:顕微鏡による細胞観察やミクロメーターを用いた測定実験などを通して、科学的に考察し、表現している。 c:エネルギーを用いた生物の活動について、科学的に考察しようとするなど、主体的に探究しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 課題 ワークシート 小テスト	課題 ワークシート 提出ノート
	遺伝子とその働き	・遺伝情報とDNA ・遺伝情報とタンパク質の合成	a:ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されていることを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 b:体細胞分裂前後で遺伝情報の同一性が保たれているということを探究し、科学的に考察かつ表現している。 c:遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、ＤＮＡの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性を科学的に探究しようとしている。			
	ヒトの体の調節	・神経系による調節 ・内分泌系による調節	a:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解しているとともに、科学的に探究するため必要な基本的な知識、技能を身に付けている。 b:酸素解離曲線や心臓の拍動調節の仕組み、腎臓と水分長の調節の仕組みについて考察し、導き出した考えを表現できる。 c:日常の場面から交感神経と副交感神経の作用について、科学的に考えようとしている。			

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	ヒトの体の調節	・免疫	a:血清療法の仕組みやワクチン発明の経緯とその歴史を知ることで、科学的に探究するために必要な基本的な知識や技能を身に付けている。 b:病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを科学的に考察し、表現している。 c:北里柴三郎や野口英世の感染症治療に関する研究内容について調べ、感染症予防に対し、科学的に探究しようとしている。	定期考査 ワークシート 小テスト	定期考査 課題 ワークシート 小テスト	課題 ワークシート 提出ノート
	生物の多様性と生態系	・植生と遷移 ・生態系とその保全	a:陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 b:世界のさまざまな地域の気候と植生の関係を調べ、バイオームが遷移を経て成立していることを科学的に考察し、表現している。 c: 生物多様性の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要であることを理解し、科学的に探究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度